～今年度の学園研究・学園アンケートから見えてきたもの～

三鷹市では、学園ごとに小中学校の先生方が一緒になって授業改善や９年間のカリキュラムの見直しを行う「学園研究」に取り組んでいます。おおさわ学園の今年度の「学園研究」のテーマのひとつは、「児童・生徒の育成に関する課題について」。平成 26 年度からの国や都の学力テスト、体力テストの結果などをもとに分析が行われました。

CS 委員会では、その研究結果の報告を受け、「学園アンケート」結果(学園通信３月号に掲載予定)なども参照しながら、子どもたちの様子について意見交換をしました。

学力：“読み取る力”“書き表す力”を伸ばしたい

- 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える力
- 自分が表現しようとすることを的確に文章として書き表す力
- 身に付けた知識を学習や実生活に応用して活用する力

体力：全体的には“投力”が課題

- 学園全体的の大きな枠で捉えると、「投力」が不足
- 学年、男女によりばらつきが多いので、９年間のカリキュラムでは、各校、各学年、それぞれの課題の運動に取り組んでいきたい　（学園研究会報告より）

おおさわ学園の子ども達の「伸ばせる力」を共有して、家庭・地域でも出来ることを考えてみよう！

学園アンケート結果など参照しながら意見交換

〇アンケート結果では学年が上がるにつれ読書習慣の肯定評価が少なくなっています。
〇「読み取る力」と読書習慣は関係が深いと思いますが・・・。
〇低学年は保護者の読み聞かせや、読書の勧めがありますが、高学年はそういう機会が減るのでしょうか。
〇アンケートに日記を勧める記述がありました。書く力と読む力には関連があるのでは？
〇中学の朝読書では静寂の中、相当集中している姿があります。
〇理科など調べ学習にも、情報を得るために資料を読み取る力が必要です。
〇将来に関して、自分の夢をきちんと作文にできるような感性を持っている生徒もいます。
〇公園でもボールを使えません。
〇体育の授業でドッジボールをやらなくなっています。投力低下は東京都全体の問題です。
〇「スカッドボーイ」（投てきの練習具）の使用、「ドッジボール大会」の企画など、体育の時間の取り組みを工夫します。
〇アンケートには、「始業前の朝、校庭で遊べたら」との希望がありました。

学園各校の取り組みに注目して、家庭や地域にできることはなにか、考えてみませんか？
例えば、家族で一緒に読書やスポーツを楽しむなど。

また、学園研究では、**「身に付けた知識を学習や実生活に応用して活用する力」**も課題としてあげられています。家庭、地域での豊かな実体験が、子ども達の『応用して活用する力』につながります。

～地域の力を活かして、子どもたちの豊かな学びにつなげよう～

前号で掲載しました「学園の先生方と CS 委員との懇談会」の中で挙がった、学校が地域人財の支援を必要としている分野について、その分野に関わる地域人財の皆様にお声をかけさせていただき２月３日(土)「地域人財のみなさまとおおさわ学園の先生方・CS 委員との懇談会」を開催しました。

≪話し合われた分野≫

- キャリア・アントレ
- 防災教育
- 理科・総合学習
- 地域歴史・戦争体験
- 書道・音楽・体育・保健

多くの地域の方が参加してくださり、先生方と直接学習支援について懇談いただく良い機会になりました。
今後、各校で地域人財・大沢の環境を活用した授業を展開していきます。

アンケートでは、「道徳の授業化」や「道徳授業を評価する事」に関する意見も多くありました。公開授業を参観した方からは、『感心した』という声も多く見られました。先生方が研究を重ねている『考え議論する道徳授業』。まずは、保護者・地域の皆様も公開授業をご覧になり、各ご家庭でお子さんと話すきっかけにしてみては如何でしょうか。

今年度も学園の子ども達に、多くのみなさまからの温かい応援・支援を有り難うございました。CS 委員会では、今年度「見えてきたもの」が次年度の学園学校経営計画に活かされるよう、注目していきます。

CS 委員会会長　倉田清子